



喜小だより

令和5年9月8日発行 発行者 黒田敦子



自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子 一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

～夏休み明け 元気な子どもたちとともに学校がスタート～ ご家庭に感謝

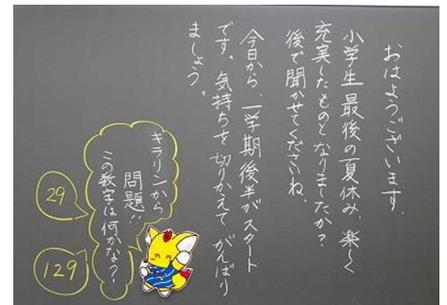
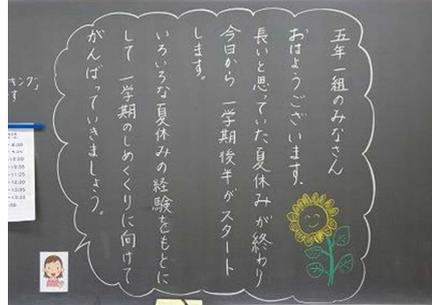
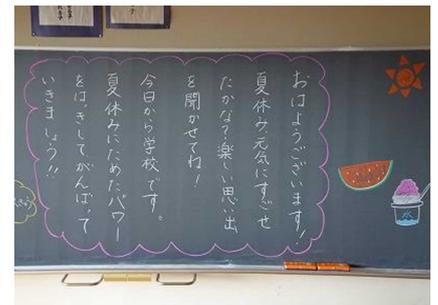
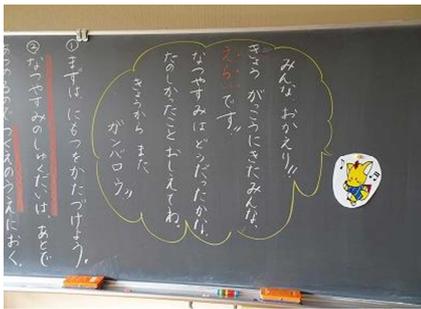
39日間眠っていた学校に児童の声が響き、学校が一気に活気づきました。夏休みの思い出を抱え、一回りたくましくなった子どもたちに会えて、大変嬉しく思います。あらためてご家庭の皆様にお礼申し上げます。

1学期も残り1ヶ月となり、10月7日には運動会も控えています。これからは、前半の学びが学年段階の児童の成長につながる時期です。今後も、全職員で児童の学校生活の充実に努めていきたいと思ひます。

さて、夏を全力で過ごした体は、意外に疲れているものです。しばらくは、児童の健康管理にご配慮願ひます。

児童を迎えた黒板(各学年1組分)

他のクラス分はホームページでご覧ください。



児童の活動渋りや登校渋りは「やりにくさ」のサイン



夏休み明けは、始まりへの期待と不安が入り交じって、心のバランスがとりにくい時期です。その不安から自分の心を守るために、行動を抑制します。それが、活動渋りや登校渋りとなって現れます。そんな時は、子どもの頑張るエネルギーが下がっているサインです。そもそも学校生活には大きなエネルギーが必要です。できることが当たり前ではなく、頑張るからできるのです。エネルギーがなければ頑張れません。さあ、大人はどう対応するべきでしょう。まずは受け止めて「なにか不安なんだね。」と声をかけてください。心に寄り添ってもらえたことで安心します。そして「大好きだよ。」「心配しなくて大丈夫、先生とも相談しようね。」と伝えてあげてください。その上で、お子さんをよく観察してください。なにか「やりにくさ」があるはずで、①学習の遅れ ②対人関係 ③不器用さ ④強いこだわり ⑤表現力不足 ⑥経験不足 ⑦見通しがもてない など。学校と家庭で連携してやりにくさを一つ一つ取り除いてあげられればと思います。大人が連携して自分のことを考えてくれる姿を見て、子どもにエネルギーが戻ってきます。最も大切なことは、子どもたちがチャレンジしたことや頑張ったこと自体を心から褒めることだと思います。

★民生委員・児童委員との懇談会★

夏休み中の8月7日に本校を会場に、喜中と喜小合同で行いました。25名の喜連川地区の民生委員・児童委員のみなさんが参加くださいました。各校から、学校の教育方針や学習指導・児童生徒指導の現状などを説明した後、質疑応答を行いました。日頃より、両校の様々な活動にご協力いただき、地域の児童生徒に声をかけてくださったり見守りをしてくださったりしている皆様、大変ありがとうございます。



★夏休みの作品 力作ぞろい!★

児童が家で学習した成果が、各学年の廊下に並んでいます。学校とは異なる経験や、やり遂げる経験ができたのではないのでしょうか。ご家庭のご協力に感謝します。



★PTA 奉仕作業★ 7月1日 8月26日

多くの保護者やボランティアのみなさんに参加いただき、無事実施できました。保護者の皆様のお力で学校の環境整備ができましたこと、感謝いたします。本当にありがとうございました。

★ネット時代の歩き方講習会 8月31日★

6年生を対象に実施しました。とちぎネット利用アドバイザーの高野さんを講師にお招きして、よりよくインターネットを使える人になるために、「幸せな使い方」「幸せでない使い方」について考えたり話し合ったりしました。児童は活発に意見を交換しました。



★避難訓練 9月6日★

今までにない災害が増えているため、学校では計画的に避難訓練を実施しています。今回は、竜巻や突風に備えた訓練です。はじめに、机のシェルターの作り方を映像で確認し、次に自分たちでシェルターを作って避難しました。ランドセルで背中と頭を守る方法も知ることができました。児童は非常時に備えて、無言で真剣に訓練しました。1・2年生は、水害に備えた垂直避難も体験しました。



155万アクセス突破!



児童の活動の様子は、こちらのQRコードから→



喜小だよりのカラー版は、こちらのQRコードから→



校長室の窓から

夏休み 子供の笑顔と引き換えに
飛んで出ていく 福沢諭吉

夏休み前、子どもたちに「何か楽しみな予定はあるの。」と聞くと、みんながわくわくするようなイベントが目白押しの様子。保護者のみなさんの子どもたちへの思いが伝わります。「校長先生は？」と返してくれる子もいて、「校長先生も、寝たり、のんびりしたり、休んだり、だらだらしたり、いろいろ忙しいの。」と言うと、気の毒そうに「どこかに行けば。」と提案してくれました。(笑) 毎日子どもたちの思い出話を聞くのが楽しみな今日この頃です。さあ、飛んでいった諭吉さんを再び呼ぶために一生懸命働きますか。保護者のみなさん夏休みお疲れ様でした。

